



2023年6月12日

社会福祉法人よさのうみ福祉会  
理事長 青木 一博様

監事 山口 董   
監事 狩野 竜典 

私たち監事は、2022年4月1日から2023年3月31日までの2022年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類(計算書類及びその附属明細書)及び財産目録について検討しました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

### (2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。さらに、その状況をより分かりやすい方法で示す努力がされています。

### (3) 入所支援施設「いきいき」の利用者預り金の監査結果

「入所者預り金管理規程」に基づき別会計で経理され、適正に管理されていました。

## (4) 監査の所見

私たち監事が、昨年度の監事監査で指摘した事項について一定の改善の努力は図られていますが、下記の事項についても必要な措置を講じられ、今後一層関係法令を遵守し適正な法人および事業所運営に努力されることを求めます。

記

- 1, 第3次3カ年計画や事業計画を進めるために重点課題を明確にして取り組みを進めるなどの努力をされています。さらに利用者への支援の向上、それを実践する個々の職員や職員集団の質的な力量を一層高めることに重点をおいて、これらたくさんの課題の優先順位を考えて進めていける法人組織体制の構築に一層努力されたい。
- 2, 正規職員の自主的なグループ研修、事業所ごとの利用者事例検討会、「心温まること・ちょっと一言」大賞など、職員が主体的な学びの機会、育ちあう職員集団づくりに努力がされています。一方で虐待やハラスメントなどが発生する一つの原因が事業所における職場環境にあることをふまえ、何でも話し合える職員関係や職場環境を整えることに引き続き努力されたい。
- 3, 少子高齢化、過疎化、人口減少などによる地域における多様な課題を、法人の事業を進める中で解決する検討を進めるとともに、関係機関や地域と協同して解決するための一層の連携強化に努められたい。
- 4, 収支差率は2018年度▲1.3%以降毎年度少しずつ改善し、2022年度は法人目標3.0%を超え4.8%となり、合わせて新たな修繕積立金など一定額を保有することができ、古くなった事業所の大規模改修などに備える努力がされている。また、その状況を共有化する努力がされている。  
一方で法人の事業規模も15億円をはじめて超えて大きくなってきており、内部の監査方法の充実をはじめ、適正な財務管理ができるよう執行体制やチェック体制を一層整えられたい。

以上